

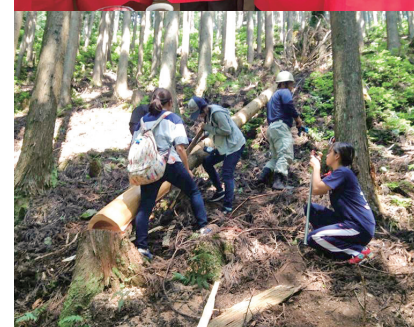
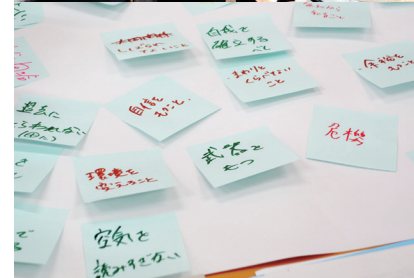
社会の課題を「肌」で感じ、養う変革力

地域教育プログラム（地域と学ぶ）

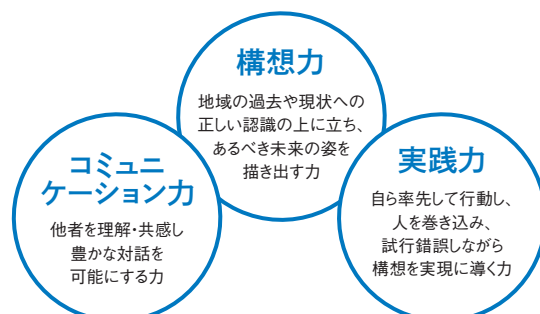


身につけるのは、 「変革力」

地域や社会の課題に対して、既存概念や常識を打ち破り、新たな価値を創造し未来を開く力「変革力」。「コミュニケーション力」、「構想力」、「実践力」の3つの「力」を鍛えて養います。



地域教育で身につける 3つの力と変革力



— 地域や社会の抱える課題に取り組み、未来を拓く力 —

TEACHER'S VOICE

社会で生きる力を育てる 地域教育プログラム

これからの時代に生きる若い世代には、これまでの仕組みの延長線上に自らの能力を磨くだけでなく、変化を時代を生き抜き、持続可能な社会の創造を担う能力と資質を養うことが求められています。地域教育プログラムの受講を通じて、この課題に応える「未来志向の変革力」を身につけましょう。

地域共生センター
教授 鶴飼 修



≫ 地域との学びのSTEP 滋賀県立大学オリジナルの地域とともに学び合う学びのステップで「変革力」を鍛えます。



≫ 地域との学びを深める副専攻課程

近江楽士(地域学)副専攻

近江楽士(地域学)副専攻は、専門領域を超えて、さらに自身の能力を高めた未来志向の学生を対象に、全学部全学科生が受講可能な副専攻課程で、これから社会で求められる「ネットワーク力」や「起業力」を身につけます。近江楽士(地域学)副専攻を修了し、所属学部の卒業要件を満たすことで「近江楽士(コミュニティ・ネットワーク)」と「近江楽士(ソーシャル・アントレプレナー)」の称号が付与されます。この称号は、企業等へのインターンシップ活動や就職活動に活用できます。



近江環人地域再生学座(大学院生・社会人対象)

近江楽士(地域学)副専攻の上位カリキュラム。大学院生・行政・企業・NPOなど、それぞれの立場で地域再生のリーダーとなる資質を有した人材の育成を目指しています。



MESSAGE

コミュニティ・カフェの企画・運営を通して 地域の居場所づくりに貢献

授業を通して、彦根市下石寺町でコミュニティ・カフェの企画・運営をしたことが印象に残っています。地元産のお米で作った米粉を活用したスイーツの開発、カフェの空間づくり、広報などを担当しました。大学入学時から「いつか地域住民の居場所づくりをしたい」と考えていたので、貴重な機会をいただけて嬉しく思いました。現在は定住支援員として、多賀町外の方に魅力を知ってもらえるような活動を行っています。地元の方々に地域の価値を再発見してもらるように今後も活動に関わっていきたいです。

環境科学部 環境政策・計画学科
2019年度卒業
環境科学研究科 環境計画学専攻
2021年度修了
朝比奈 遥さん



近江楽士
履修しました